

さいたま新都心で花見&三二期会

上原 昇 (2組)

造幣局と言われてもピンとこない方が多いと思います。正式名称は独立行政法人造幣局というそうです。私の住んでいるさいたま市大宮区のマンションの前に、造幣局が東京都豊島区から移転して、さいたま支局としてオープンしたのは7年前のことでした。貨幣(硬貨)の製造をする工場なので、堅牢な建物が必要とみえて、長期にわたる建設中は工事の騒音や交通規制などで大変でした。

造幣局といえば、大阪の本局の桜の通り抜けが有名で、開花時期に訪ねた人も多いことと思います。さいたま支局でも開局当時に植えた桜が大分大きく育ってきました。

八重桜を主として25品種、107本の桜が植えられているそうで、桜並木の両側には一面の芝桜がピンクの絨毯のように綺麗です。

大阪にならい、今年は4月7日から13日まで「桜のさんぽ道」として開放されました。4月12日(水)の昼、昨年に引き続き、筆者が幹事で、地元で近所の成澤文和君(4組)、関賢治君(2組)、浅倉英樹君(4組)と、高崎から中山正光君(11組)の同期5人が花見を兼ねた三二「蕨の会」を企画・開催しました。

当日は物凄い突風が吹き荒れる生憎の天気となりましたが、集まった面々は遅咲きの最後の桜を楽しんだ後は、工場と併設の造幣博物館を見学しました。

その後、さいたま新都心駅までもどり、新都心合同庁舎内にあるホテル内の和食店「秋ヶ瀬庵」に場所を移し、昼食兼懇親会となりました。

この何年間は大人数での同期の集まりは自粛してきましたが、そろそろ「蕨の会」さらには同期会も再開できるかといった話が弾みました。

最後に、「蕨の会」成澤会長からは、今秋には鎌倉散策、来春には念願の信州地元での真田を訪ねる旅を予定しているという話がありました。実現できると良いのですが。



造幣局さいたま支局にて、
左から上原、成澤、浅倉、
中山、関



満開の桜「松月」前で成澤君と
中山君



満開の八重桜をバックに、左から関、成澤、浅倉、上原、中山



「秋ヶ瀬庵」に
て、左から中山、
浅倉、関、上原、
成澤

(2023年4月
12日)

以上